

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

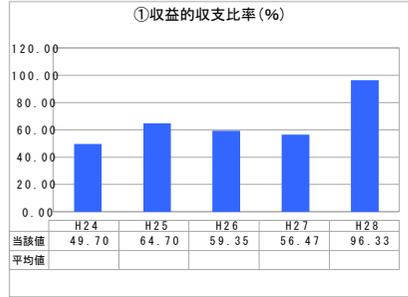
岩手県 田野畑村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	漁業集落排水	H1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	21.79	93.44	3,560

人口(人)	面積(k㎡)	人口密度(人/k㎡)
3,590	156.19	22.98
処理区域内人口(人)	処理区域面積(k㎡)	処理区域内人口密度(人/k㎡)
777	1.23	631.71

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
□ 平成28年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



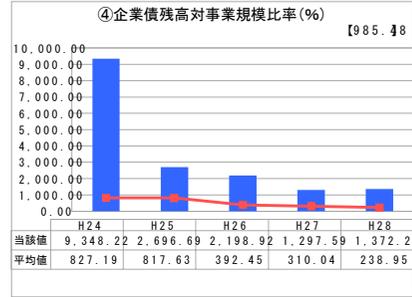
「単年度の収支」



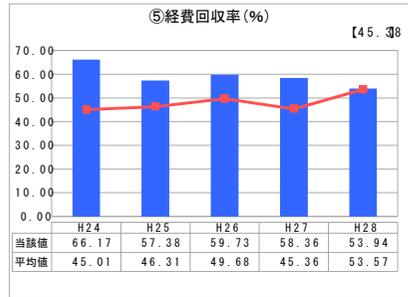
「累積欠損」



「支払能力」



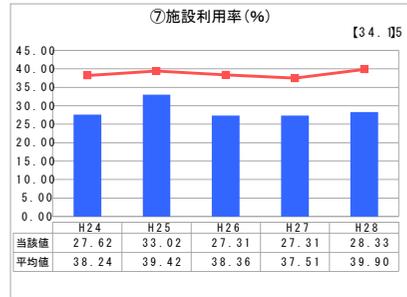
「債務残高」



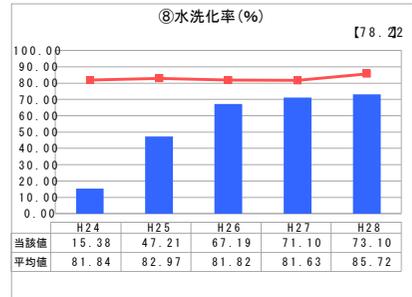
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

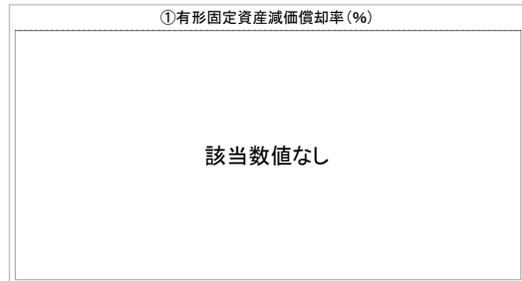


「施設の効率性」

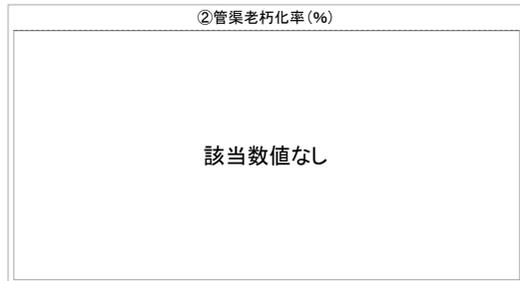


「使用料対象の捕捉」

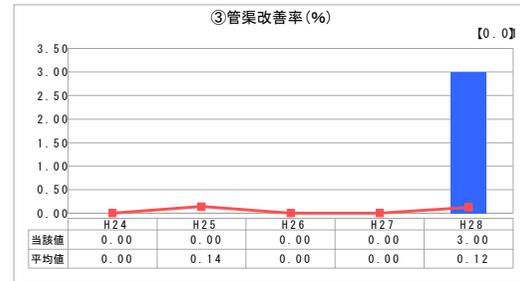
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率について  
比率の低迷要因として、地方債償還金が多くを占めており、一般会計からの繰入を余儀なくされている。今後可能な限り経営改善に努める。

④企業債残高対事業規模比率について  
東日本大震災の復興事業により類似団体に比べて高い比率であるが、グラフが示す通り今後企業債残高は減っていく見込みである。

⑤経費回収率について  
類似団体とほぼ同水準となっている。今後も100%を目標に可能な限り経営改善に努める。

⑥汚水処理原価について  
汚水処理原価は概ね類似団体平均程度で推移し、今後も良好な状態を維持するよう努める。

⑦施設利用率について  
過疎化により接続人口が減少しているため、低い数値となっている。

⑧水洗化率について  
類似団体平均値より低い数値となっているが、水洗化率は年々向上している傾向にあるため、継続して取組を行う必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

近年、東日本大震災津波の災害復旧及び復興事業に伴い施設が新設されているが、被災を免れた地区や、既設管の再利用をしている地区は、最も古い場所や30年程度経過しているため、今後、不明水等の動向に注視しながら、適期の老朽化対策に努めたい。

## 全体総括

集落排水施設は水環境を守るのに、今や不可欠な施設であることから、将来にわたり継続的に維持するために、適正な使用料収入の確保及び汚水処理費の削減に努め、経営の健全化を図っていきたい。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。